

◎1月28日(土)開催 第3212回単独例会

「樹氷煌めく金剛山へ」

旗振支部 松田 捷子

当初の計画では29日の山行でしたが、あまりにも希望者が多いため28日、29日の両日に分かれての山行。28日は旗振支部グループ(10名)だけでの出発となった。

24日から今期最強の寒波襲来。25日は神戸でも薄っすら積雪があった。その雪も解け、一時寒波も緩んだかに見えたが27日にぶり返してきた。この時期の金剛山登山は人気があり多くの人が詰めかけるとのアドバイスを受け、早めの阪神電車三宮7:02分発に乗り込む。



阪神～南海電車を乗り継ぎ、河内長野駅でバスに乗り換える。電車の中でも山行服装の人がだんだん増えてきたと思っていたが、なるほどバスを待つ人は長蛇の列。一台目には乗れず2台目でGO。街中、目立たなかった雪が山に向かった途端一面真っ白。

バスを降りるともうそこは雪国、新たに20cmぐらいの積雪。アイゼン



を着け服装を整え、みんな揃って登山口記念撮影。

出発は10時過ぎ、フカフカの新雪が心地よい。登山道はよく整備され危険な所は殆んどなく歩きやすい。



急ぐ山行でもないので休憩をはさみながらゆっくりしたペース。その都度、山の風景を楽しむ。



山の下層はスギなどの植林地が多く樹氷はよく観察できなかったが上層に行くに従い落葉樹の



林となり素晴らしい樹氷が見られた。樹氷は、雪が付着してできるものでなく、気象条件が気温

-5度以下、過冷却された霧や雲の微水滴が付着してできる。今回の登山を好時期にセットしていただき、なかなか見られない風景を楽しむことができ感激です!



圧巻の樹氷トンネル

山頂着が 12 時 5 分前。ということは1時間50分ほどの行程でした。喜びあう皆さんの風景。



丁度、お昼時であり早速お弁当タイム。雪一面の中、気温-4℃。雪もチラチラ降って、なかなかまとまって座る場所もなく分散して食事。

食事後、山頂付近を散策するもこの天候。眼下に広がる大阪の街、大阪湾の欠片も見えません。歩いている



時、感じなかったが動かないと寒さが身に染みる。早々に引き上げることとなった。

先日 TV 放送でこの山を毎日登山されている方もいるとのこと。私たちがこの近くに住んでいたらきっと毎日ではないが週に3、4回は登っているに違いないと思える歩きやすい山。



下山も樹氷を楽しみながら慎重に。だがあっという間に麓着。所要時間は55分、ちょうど上りの半分。登り始めたときは、あんなに積もっていた雪もアスファルトもむき出しになっていた。帰りのバス亭へ急ぐ、ロープウェイ乗場始発のバ



スは満員。1台見送り次のバスも満員だったがぎゅうぎゅう詰めで何とか帰路に、途中急カーブの連続で気分がすぐれない方もあったが無事河内長野駅に到着。



ヒヨコ登山会に参加させていただき、数多くの山に連れて行っていただいた。またこの高

齢になっても雪の金剛山に登れたのはヒヨコ登山会の皆さんのおかげです。

皆さんに感謝、感謝です！大満足の1日、ありがとうございました。